

カワセミ

Common kingfisher / *Alcedo atthis* / Kawasemi / カワセミ

色鮮やかな体と黒く尖った長いくちばしを持つ、体長 15～20cm ほどの小型なカワセミは、奄美大島全土でみられ、頭と翼は明るいターコイズブルーで、首や喉は白く、胸は鮮やかなオレンジで対照的である。小魚を捕食するため、よく穏やかな水面の上の木に止まっているところが見られる。時にはホバリングをすることもあり、獲物を見つけると、カワセミは素早く水中に飛び込み、仕留める。寒い地域のカワセミは渡るが、亜熱帯の奄美大島では、常時生息している。

Ruddy kingfisher / *Halcyon coromanda* / Akashobin / アカショウビン

アカショウビンの名前は全身の錆びたオレンジ色の羽毛からくるが、背中や尾は紫の部分もある。体と比較すると小さなくちばしは赤く、時にはカタツムリやヤドカリの殻を岩に叩きつけて割ることに使われる。カタツムリ、カニ、両生類を主な主食としているが、魚は食さない。アカショウビンは樹木の生い茂った森林を好むが、大瀬海岸の防風林にも生息している。繁殖期の 4 月～9 月の間に奄美大島で夏を過ごす。警戒心も強く、単独で行動するため、見る事は少ない。